

2021年度 日本工学院専門学校											
コンサートイベント科 1年次											
キャリアゼミ1											
対象	1年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	森永直樹・鈴木裕大・東 浩平 佐藤礼央・島田円歌・中里哲也			実務 経験	有	職種	レコード会社・プロダクション等				
授業概要											
1960年以降の近代ポップスの歴史から紐解き現在までの音楽事情を業界の流れに沿って学び、ITの時代に新しい音楽（ハード・ソフト）でいかに人を魅了できるか課題解決学習を中心にチームで検討していく。CDリリースとライブの関係性が崩れアーティストを売り出すテクニックはどのように変化していったのか？テレビが中心であった時代からネット全盛期の今日におけるプロモーションやデビューの方法の移り変わりなどを知り全学生がマネージャーになってみたらの視点で考えてみる。											
到達目標											
音楽史を学ぶと同時に社会背景を学び高度経済成長期からバブル時代、90年代バブル崩壊後は新たな手法の音楽メディアの登場と海外に後れを取る日本の音楽事情。更にはIT分野との音楽の関連性と未来に向けての取組を個々の学生が明確な課題を持って取り組む事が出来る。											
授業方法											
■授業では、音楽史を中心に世界の歴史を学ぶ。（一般教養的な授業） ■ヒット曲の背景にはどんな経済の動きがあったか？新しいメディアの登場によりマネジメントの手法はどう変わり、今後はどう進化していくのかチームごとに検討して行く。											
成績評価方法											
試験・課題 80％ 試験と課題を総合的に評価する 平常点 20％ 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
この授業では音楽の歴史を探りながら社会との関連性を学び音楽ビジネスがどう移り変わって来たのかを知る。そのため単に音楽史を学ぶのではなく日本さらには世界の現代史を深く学ぶことが焦点である。社会に出るうえで必要な一般教養知識を学ぶための授業である。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス ガイダンス：（学ぶポイント）										
第2回	現在の音楽事情 学生たちの趣味趣向と一般的な音楽事情										
第3回	アーティストが生み出すモノと様々な仕事① 日本と海外の音楽業界全体像										
第4回	アーティストが生み出すモノと様々な仕事② ライブビジネスとレコードメーカーの関連性										
第5回	アーティストが生み出すモノと様々な仕事③ なぜCDは売れなくなったのか？社会背景からの視点										
第6回	アーティストが生み出すモノと様々な仕事④ レコード店は本当に要らないのか？Youtubeから見る企業戦略										

2021年度 日本工学院専門学校	
コンサートイベント科 1年次	
キャリアゼミ 1	
第7回	アーティストが生み出すモノと様々な仕事⑤ マネージメントの仕事（売りだし方の変化）
第8回	アーティストが生み出すモノと様々な仕事⑥ 新しい音楽メディアの登場
第9回	アーティストが生み出すモノと様々な仕事⑦ 音楽とICTとの関連性と今後に期待できる事
第10回	グループワーク① アーティストを「有名にする」ための会議
第11回	グループワーク② アーティストを「有名にする」ための会議（発表）
第12回	アーティストが生み出すモノと様々な仕事 音楽出版社と著作権
第13回	アーティストが生み出すモノと様々な仕事⑨ ライブ・エンターテインメント論（1）
第14回	アーティストが生み出すモノと様々な仕事⑩ ライブ・エンターテインメント論（2）
第15回	まとめ まとめ 及び 前期試験対策